

## 第1章 第3期自己点検・評価活動の位置づけについて

### 1. 本学の自己点検・評価活動と認証評価制度の導入について

#### (1)平成15（2003）年度までの経緯

大学の質保証のため、大学が自主的に集まり同業者評価を研究してきた団体として（財）大学基準協会がある。本学は平成6（1994）年に大学基準協会の加盟判定を受け、正会員（維持会員）となった。正会員は、その適格性を会員同士の「相互評価」で確認する。この「相互評価」の周期に関して、本学が加盟した時点では、基準協会から明確なルールは示されていなかった。

その後、本学加盟後の平成8（1996）年度から、同年以降に新規加盟した大学に対して次の相互評価の時期を10年後とすることが、基準協会によって決定された<sup>1</sup>。同決定以前に加盟している本学については、同決定は適用されなかった。しかし、上記の経緯から、同決定の10年後にあたる平成18（2006）年には本学も相互評価を受けることが望ましいと考えられた。

そこで本学では、平成15（2003）年12月11日教授会において、平成17年5月1日を「大学基礎データ」の基準日とする「相互評価」を平成18年度に受けることが承認された。

#### (2)平成16（2004）年度の状況変化

平成14年の学校教育法の改正（平成16年施行）により、平成16（2004）年以降、認証評価機関の評価を最低7年間に1回受けることが義務付けられた。

本学が正会員となっている（財）大学基準協会は、文科省により平成16年8月に認証評価機関として認証された。これにより、大学基準協会では正会員が定期的に受けることになっている「相互評価」は、学校教育法で定める「認証評価」に相当するものと認められることになる。

こうした経緯により、本学は平成16年に7年を足した平成22年までに、（基準協会の）「相互評価」、すなわち（学校教育法上の）「認証評価」を受けるべきこととなった。

#### (3)本学の相互評価（認証評価）スケジュール

以上の事情をふまえたうえで、第3期自己点検・評価委員会は、大学基準協会の相互評価（認証評価）を受ける時期を、主にふたつの理由から、平成18年度から平成20年度に変更することを提案し、承認を得た。まず、本学では平成19年度にはアトリエ棟が完成するほか、博士後期課程も完成する。これらの点は本学にとって大きな事情変更である以上、自己点検・評価に反映させることが望ましい。つぎに、評価を受けるまでに必要な準備期間（通常1年半から2年）を考え合わせる必要がある。評価申請のためには、大学基礎データを集計するのみならず、自己点検・評価報告書をまとめあげる必要があり、相当の準備と労力が要求される。拙速な作業により、自己点検・評価の本来の趣旨を見誤ってはならないとの考えによる。

---

<sup>1</sup> なお、平成14年度以降の加盟校については7年後となった。

## 2. 第3期自己点検・評価委員会の位置づけ

第3期自己点検・評価委員会は、認証評価制度の導入以後、初めて本学の自己点検・評価活動にあたる立場として、第1回、第2回の反省に立って、今期の活動の方針を検討した。

まず、本委員会は、認証評価に先立つ自己点検・評価の作業プロセスを、「教育研究水準の向上を図り、大学の目的および社会的使命を達成するため」に自発的な大学機能の総点検を行うという、本来の趣旨に立ち戻り、積極的な改善・改革の契機ととらえる。本学における問題点や課題を発見し、解決策を立案し、現存組織に反映していくという、この一連のサイクルを機能させることが重要である。

つぎに、本委員会は、第1回目の認証評価を受ける前に、学内で従来の自己点検・評価プロセスに倣った、a) 基礎データ作成、b) 点検評価、c) 報告書作成、d) 改善努力という一連の手続きを現に実行してみることとする。その中で、自己点検・評価の積極的な趣旨を学内に浸透させると同時に、本学の課題を顕在化することが可能になる。

平成20年度に認証評価を受けるためには、前年度平成19年度中に学内で報告書をまとめ、平成20年4月初めに大学基準協会に最終報告書を提出することが要求される。この作業を担当する「認証評価プロジェクト」は、第3期自己点検・評価委員会の任期が平成19年3月31日までであることから、通常であれば次の第4期自己点検・評価委員会が、認証評価を受ける前年度始めの平成19年4月に立ち上げることになる。しかしながら、上記の活動方針を貫徹するため、第1回認証評価を終えるまで、本委員会委員の任期を延長することとした。

## 3. 第3期自己点検・評価活動における特徴

第3期自己点検・評価委員会は、認証評価の周期をふまえ、第1部末尾の図1および図2のように、本学の自己点検・評価活動の計画を策定した。

第3期自己点検・評価活動にあたっては、主にふたつの工夫を取り入れた。

第一に、実務作業委員会（WG）の構成である。WG立ち上げにあたり、以下に留意した。特に職員委員について、将来の世代交代も見据えて課長レベルと課長補佐以下をペアとした。また、第1回認証評価プロジェクトが終了するまでの活動の安定性、継続性を保証するため、人事異動によっての交代を必要最小限にとどめ、可能な限り同一メンバーを維持できるようにした。

第二に、本委員会とWGとの連携・協力をはかるための仕組みを導入した。まず、本委員会の委員各自にひとつのWGの担当を割当て、本委員会の意向を説明する仲介者の役割を果たすこととした。WG点検・評価報告書の読み込みおよび改善・改革方策の集約作業の責任者とした。つぎに、WG総会とWG代表者会議を開催することとした。WG総会は、WGメンバー全員が趣旨をじゅうぶん理解したうえで活動に従事できるよう、春と秋に2回開催することとした。春のWG総会については、自己点検・評価活動のガイダンスとして位置づけ、本委員会の役割および権限として、WG点検・評価報告書の編集の必要性と編集権について明らかにした。WG代表者会議は、WG委員長および副委員長（WG代表者）と本委員会メンバーが集まる場として、平成17年度に2回、平成18年度の理事長、学長提出前に1回開催した。これにより、8つのWGと本委員会が互いに活動の進捗状況を合わせるとともに、活動の上での疑問に対して補足説明を行うなど、潤滑なコミュニケーションをはかるように努めた。

## 第2章 平成16/17年度自己点検・評価報告書作成の経過について

### 1. 実施体制

メンバーと会議等の開催状況は、以下の通りであった。

#### (1) メンバー

##### ■第3期自己点検・評価委員会

	氏名	任期中の職位
委員長	長澤忠徳	デザイン情報学科教授
副委員長	稲葉直	法人事務部長
	上野良朗	通信教育課程事務部長（～平成18年6月7日） 教務課調査役（平成18年6月8日～）
	片田博	総務部長（～平成18年6月7日） 施設・管財課調査役（平成18年6月8日～）
	神野善治	図書館長、学芸員課程教授
	小林昭世	基礎デザイン学科教授
	白石美雪	教務部長、一般教育教授
	羽生龍彦	教務部事務部長

【参考資料1 自己点検・評価項目と点検・評価実務作業委員会の対応】

点検・評価の大項目		点検・評価実務作業委員会		業務所管	教員	職員
No.1	大学の理念・目的	A	基本的事項	総務 法人	神野 小林 白石	稲葉 上野 片田 羽生 中島
2	教育研究組織					
9	社会貢献					
11	管理運営					
13	事務組織					
14	自己点検・評価					
12	財務	B	財務	経理	—	3
3	教育内容・方法等	C	教育	教務	3	3
4	学生の受け入れ	D	入試	入試・企画	3	3
5	教員組織	E	研究	教務	3	3
6	研究活動と研究環境					
7	施設・設備等	F	施設・設備	施設管財	3	3
8	図書館および図書・電子媒体等	G	図書館	図書館	3	3
10	学生生活	H	学生生活	学生生活・就職	3	3

点検・評価実務作業委員会：計8

【参考資料2 大学基礎データ(様式)及びWG資料の読みとり 本委員会内の分担表】

点検・評価実務作業委員会 (WG)	担当委員
A 基本的事項	中島
B 財務	上野
C 教育	羽生
D 入試	小林
E 研究	白石
F 施設・設備	片田
G 図書館	神野
H 学生生活	稲葉

■第3期点検・評価実務作業委員会（WG）

総数 43 名

- ・ 基本的事項 WG の 7 名は第 3 期自己点検・評価委員会委員。
- ・ ◎は委員長、○は副委員長を指す。
- ・ ⇒は職員委員の人事異動および人事異動にともなうメンバーの交代を示す。

略号	実務作業委員会	教員委員	職員委員
A	基本的事項	小林昭世（基デ・教授） ◎白石美雪（一般教育・教授） 神野善治（学芸員課程・教授）	片田 博（総務課長 ⇒平成 18 年 6 月～施設管財課調査役） 羽生龍彦（教務部事務部長） 上野芳朗（通信課程事務部長 ⇒平成 18 年 6 月～教務課調査役） ○稲葉 直（法人事務部長） 中島晶子（法人事務室長補佐）
B	財務		◎高山利子（経理課長⇒80 周年募金事業担当室長） ○矢島豪徳（経理課主管） 中村圭祐（経理課主管） ⇒○中村圭祐（経理課主管）平成 18 年 6 月～ ⇒ 増古憲一（経理課主管）平成 18 年 6 月～
C	教育	◎三浦耐子（日本画・教授） 圓山憲子（一般教育・教授） 伊東 毅（教職・教授） 金子伸二（通信教育・助教授）	○杉本貴美（教務課課長補佐） 片山恵美（教務課主管） 篠江 裕（教務課主管）
D	学生の受け入れ	遠藤彰子（油絵・教授） 佐藤淳一（デ情・助教授） ◎野口克洋（外国語・教授）	○辻 俊樹（入試課長） ⇒村岡弘章（入試課長）平成 17 年 6 月～ 江崎 元（入試課主管）
E	研究	袴田京太郎（油絵・助教授） 布施 茂（建築・教授） ◎千々岩英彰（一般教育・教授）	○野中 剛（教務課庶務担当課長⇒経理課長） 浅見貴子（国際交流留学生課課長補佐）
F	施設・設備	丸山直文（油絵・助教授） 立花直美（建築・教授） ◎米徳信一（芸文・助教授）	○福本 章（施設管財課長⇒教務部授業担当課長、教務部学事担当課長(兼)) 宮本正哉（施設管財課主管⇒総務課主管）
G	図書館	森山明子（デ情・教授） ◎佐久間保明（一般教育・教授） 北澤洋子（美学美術史・教授）	○本庄美千代（美術資料図書館事務部長、同図書資料担当課長(兼)) 太田英輝（美術資料図書館主管）
H	学生生活	斎藤國靖（油絵・教授） ◎齋藤昭嘉（工デ・教授） 田辺久美子（空デ・教授）	○細尾正一（学生生活課長⇒就職課長） 岡野良恵（総務課主管） ⇒永澤勝久（学生生活課長）平成 17 年 6 月～
人数		22 名	21 名

(2) 委員会および関連会議の開催状況

第3期自己点検・評価委員会 開催状況  
(委員8名 所管1名)

回	年度	月 日
第1回	平成16(2004)	4月28日 ( )
第2回		7月5日 (月)
第3回		10月27日 (木)
第4回		11月22日 (月)
第5回		12月13日 (月)
第6回		12月22日 (水)
第7回		1月20日 (木)
第8回		2月10日 (木)
第9回		2月25日 (金)
第10回		3月14日 (月)
第11回		3月23日 (水)
第12回	平成17(2005)	4月5日 (火)
第13回		4月25日 (月)
第14回		5月23日 (月)
第15回		7月14日 (木)
第16回		10月13日 (木)
第17回		10月20日 (木)
第18回		1月19日 (木)
第19回		2月6日 (月)
第20回	平成18(2006)	4月27日 (木)
第21回		5月17日 (水)
第22回		5月29日 (月)
第23回		6月14日 (水)
第24回		7月3日 (月)
第25回		7月20日 (木)
第26回		7月26日 (水)
第27回		8月11日 (金)
第28回		8月23日 (水)
第29回		9月11日 (月)
第30回		9月21日 (木)
第31回		9月28日 (木)
第32回		10月4日 (水)
第33回		10月11日 (水)

WG 関連会議 開催状況  
(人数は本委員会関係者9名を含む)

■WG 総会(計44名)

回	年度	月 日
第1回	平成17(2005)	4月28日 (木)
第2回		10月20日 (木)

■WG 代表者会議(計23名)

回	年度	月 日
第1回	平成17(2005)	7月21日 (木)
第2回		1月19日 (木)
第3回	平成18(2006)	10月16日 (月)

### (3)WG 総会およびWG 代表者会議の議事次第

#### ■平成17年度第1回WG 総会

第3期自己点検・評価委員会

平成17年4月28日

#### 第3期自己点検・評価実務作業委員会

#### 平成17年度第1回総会

1. 日 時： 4月28日（木）午後4時30分より
2. 場 所： 第1会議室
3. 出席者： 第3期自己点検・評価委員会および全実務作業委員会 計44名
4. 議事次第：

時刻	議事内容	参照資料
16:30 - 16:40	はじめに	
	配付資料の説明と確認（一覧表）	本資料
16:45 - 17:35	<b>共通ガイドについて</b> はじめに I. 認証評価と自己点検・評価の関係について II. 認証評価に向けての基本的方針 III. 点検・評価実務ガイドライン IV. 大学基準協会の認証評価に係る留意点 V. 第3期自己点検・評価委員会作成の諸資料  <b>WG別ガイド（共通部分）について</b> I. 本ガイドの目的 II. 本ガイドの構成 III. 本ガイドの利用方法（ご参考）	共通ガイド （目次参照）  WG別ガイド （目次参照）
17:35 - 17:45	質疑応答	
17:45 -	<b>WG毎のミーティング</b> ①委員長、副委員長の互選 ②担当する点検・評価項目の確認 ③WG別ガイド ④初回ミーティングの日時 等 ※①の結果について、第3期自己点検・評価委員会委員長までお知らせください。	共通ガイド、WG別ガイド
- 19:00	総会終了	

5. 配付資料：

(1) 全員に配布

- ① 総会議事次第（本資料）
- ② 大学基準協会資料
  - ・「大学評価の概要と申請手続きについて」
  - ・「大学評価申請に関する説明会 資料集」（資料 4～12）
  - ・別冊「『大学基準』およびその解説」「学士課程基準」「修士・博士課程基準」（資料 1～3）
- ③ 「大学基礎データ（様式）平成 16 年度武蔵野美術大学」WG 担当部分
- ④ 共通ガイド
- ⑤ WG 別ガイド
- ⑥ WG 別ガイドの説明用サンプル「A 基本的事項」（一部）
- ⑦ 認証評価に関する記事（平成 17 年 3 月 23 日付、日経新聞）

(2) WG に配付

- ① 「大学基礎データ（様式）平成 16 年度武蔵野美術大学」一式（グレーのファイル）
- ② 大学基礎データ（様式）作成分担表（ファイル①内）

以上

■平成 17 年度第 2 回 WG 総会

第 3 期自己点検・評価委員会  
平成 17 年 10 月 20 日

第 3 期自己点検・評価実務作業委員会  
平成 17 年度第 2 回総会

1. 日 時： 10 月 20 日（木）午後 4 時 30 分より
2. 場 所： 第 1 会議室
3. 出 席 者： 第 3 期自己点検・評価委員会および全実務作業委員会 計 44 名
4. 議事次第：

はじめに 第 2 回総会の目的（長澤委員長）  
本日の議事次第

議題 1 WG の活動について（各 5 分）  
①7 月代表者会議以降、現在までの経過、②今後の活動予定、③確認したい点

- A 基本的事項
- B 財務
- C 教育
- D 学生の受け入れ
- E 研究
- F 施設・設備
- G 図書館
- H 学生生活

議題 2 WG から寄せられた要確認事項について

議題 3 WG 報告書の記述について  
別紙 1 点検・評価報告書における「現状把握」、「点検・評価」、「改善・改革方策」  
について

おわりに 第 2 回 WG 代表者会議について  
1 月 19 日（木）12:10～第 1 会議室

以 上

■平成 17 年度第 1 回 WG 代表者会議

第 3 期自己点検・評価  
平成 17 年 7 月 21 日

第 3 期自己点検・評価 WG 代表者会議  
平成 17 年度第 1 回

1. 日 時： 7 月 21 日（木）午前 10 時 30 分より
2. 場 所： 第 1 会議室
3. 出 席 者： 第 3 期自己点検・評価委員会 8 名、所管 1 名  
WG 委員長および副委員長 14 名 計 23 名  
別紙 1 「第 3 期自己点検・評価 WG 代表者一覧」
4. 議事次第：  
はじめに 代表者会議の目的（長澤委員長）  
本日の議事次第

議題 1 WG の活動について（各 5 分）

①これまでの経過、②今後の活動予定、③確認したい点

- A 基本的事項
- B 財務
- C 教育
- D 学生の受け入れ
- E 研究
- F 施設・設備
- G 図書館
- H 学生生活

議題 2 WG から寄せられた要確認事項について

議題 3 WG 報告書の字数の目安について  
別紙 2 「WG、大項目の頁割当て」

おわりに 第 2 回 WG 総会について  
10 月 20 日（木）16:30～第 1 会議室

以上

第 3 期自己点検・評価 WG 代表者会議  
平成 17 年度第 2 回

1. 日 時： 1 月 19 日（木）午後 12 時 10 分より
2. 場 所： 第 1 会議室
3. 出席者： 第 3 期自己点検・評価委員会 8 名、所管 1 名  
WG 委員長および副委員長 14 名 計 23 名
4. 議事次第：  
はじめに 第 2 回代表者会議の目的（長澤委員長）  
本日の議事次第

議題 1 WG の活動について（各 5 分）

- ①第 2 回総会（平成 17 年 10 月 20 日）以降の検討経過
- ②報告書のとりまとめ状況と最終提出までの予定
- ③確認したい点

- A 基本的事項
- B 財務
- C 教育
- D 学生の受け入れ
- E 研究
- F 施設・設備
- G 図書館
- H 学生生活

議題 2 報告書最終とりまとめに係る確認事項

別紙 1 引用や注、自己点検・評価委員会の呼称について

おわりに 第 3 期自己点検・評価の今後の予定について

別紙 2 - 1 武蔵野美術大学自己点検・評価スケジュール

別紙 2 - 2 第 3 期自己点検・評価／第 1 回認証評価スケジュール

(1)WG 報告書案の本委員会による編集について

- ・一部加除修正を依頼する可能性
- ・平成 18 年度 4～7 月に第 3 期自己点検・評価報告書としてとりまとめ、9 月に理事長、学長に提出

(2)認証評価に向けたWG の活動予定について

平成 19 年度WG 報告書改訂版とりまとめ

以上

## 2. 活動の経過

平成 16/17 年度自己点検・評価報告書の完成までの活動経過は以下の通りであった。

### (1) 平成 17 年度の WG の点検・評価活動

■WG の平成 17 年度活動スケジュール (例)

日 程	会議等名称	内 容
4 月 28 日 (木) 16:30～ 第 1 会議室	第 1 回 WG 総会	初顔合わせ 委員長、副委員長の互選 初回のスケジュールについて
5 月 日	WG①	○本 WG の進め方について 連絡方法や担当者等の確認 ○本 WG が取り扱う大項目について 大項目の目標を確認 点検・評価項目の全体像
6 月 日	WG②	○点検・評価項目をグループ化 各項目グループをメンバーに割当て ○各自、担当項目のたたき台作成を次回までの宿題とする。 ※たたき台作成に際しての方法の確認 ・WG 別ガイドの「根拠資料・データ例」を参照し、必要なものを収集 ・各項目について言及すべき事項の洗い出し ・各自は担当部分についてレジュメを作成
7 月 21 日 (木) 10:30～ 第 4 会議室	第 1 回 WG 代表者会議	進捗状況についての中間報告
9 月中～下旬	WG③	各担当者のたたき台をもとに、点検・評価作業。 WG として、どのような根拠資料やデータに基づき、どのような点検・評価結果に至るかの議論。
10 月 20 日 (木) 16:30～ 第 1 会議室	第 2 回 WG 総会	点検・評価作業の進捗状況についての中間報告
11 月中旬	WG④	これまでの WG 内の議論を集約して文章化する作業の担当者を決定もしくは分担。文章化された原案をもとに検討。
11 月下旬	WG⑤	文章化された原案をもとに検討。
12 月	WG⑥	報告書確定
1 月 19 日 (木) 12:10～ 第 4 会議室	第 2 回 WG 代表者会議	報告書についての報告
3 月下旬	—	本委員会に報告書提出

※各 WG は年内に 5～6 回集まって点検・評価作業を行い、3 月末日までに報告書を最終提出した。

(2)平成 18 年度前期の本委員会による報告書とりまとめ

■WG 報告書の読み取り分担

WG 報告書	主担当	副担当
A 基本的事項	長澤	—
B 財務	上野	片田
C 教育	羽生	小林
D 学生の受け入れ	小林	羽生
E 研究	白石	稲葉
F 施設・設備	片田	上野
G 図書館	神野	白石
H 学生生活	稲葉	神野

■自己点検・評価委員会の活動経過

通算回数	当該年度	日時	場所	議題
20	1	4月27日(木) 16:30～	田中記念室	○今年度活動予定の確認
21	2	5月17日(水) 17:00～	第4会議室	○財務WG報告書と改善・改革方策 ○学生の受け入れWG報告書と改善・改革方策 ○施設・設備WG報告書と改善・改革方策
22	3	5月29日(月) 16:30～	第4会議室	○研究WG報告書 ○学生生活WG報告書
23	4	6月14日(水) 17:00～	第4会議室	○教育WG報告書
24	5	7月3日(月) 16:30～	第4会議室	○図書館WG報告書 ○教育WGの改善・改革方策
25	6	7月20日(木) 10:00～	第4会議室	○施設・設備WG報告書(2回目) ○学生生活(2回目)
26	7	7月26日(水) 10:00～	田中記念室	○施設・設備WG(3回目) ○教育WGの改善・改革方策(2回目)
27	8	8月11日(金) 13:00～	第4会議室	○基本的事項WGの報告書 ○教育WGの改善・改革方策(3回目) ○施設・設備WG報告書(4回目)
28	9	8月23日(水) 13:00～	第4会議室	○図書館WG報告書(2回目) ○施設・設備WGの改善・改革方策 ○基本的事項WGの改善・改革方策
29	10	9月11日(月) 16:30～	第4会議室	○図書館WG報告書(3回目)
30	11	9月21日(木) 12:10～	第4会議室	○図書館WG報告書(4回目)
31	12	9月28日(木) 16:30～	第4会議室	○学生生活WGの改善・改革方策 ○理事長、学長への報告 (報告書の構成、WGへの確認方法) ○改善・改革方策重点項目表
32	13	10月4日(水) 16:30～	第4会議室	○基本的事項WG「事務組織」報告書と改善改革方策 ○報告書「はじめに」
33	14	10月11日(水) 16:30～	田中記念室	○報告書「むすびに」 ○改善・改革方策重点項目表(2回目)